



吹田市健都イノベーションパーク利用事業
(第2アライアンス棟(第I期) 整備・運営事業)

事業者提案概要資料

令和8年5月23日(土) / 味舌上公民館
吹田市健康医療部健康まちづくり室

事業者概要

構成企業	役割等
【代表法人】 グリーンホスピタルサプライ(株)	構成企業の統括責任者。医療機器の販売・リース等の実績を生かし、本市や国循等周辺施設との連携・施設魅力向上、情報発信を担う。
シップヘルスケアフード(株)	病院・福祉施設向け食事提供サービス事業・レストラン事業等の実績を生かして主に給食事業、食の研究・開発を担う。
(株)中央	介護施設等への給食提供事業の実績を生かし、主に給食事業を担う。
シップヘルスケアエステート(株)	不動産賃貸の実績を生かし、オフィス等の施設管理、建物管理等を担う。

事業コンセプト: 食と健康をつなぎ、未来の健康社会を実装する共創拠点

食と健康の未来共創拠点として、健康寿命延伸のための実践型イノベーションセンターを目指す。

目指すべき姿について

食と健康の未来共創拠点として、

1階を学校給食の調理機能を有する「食の実装」施設、

2階に「食と健康」の社会実装を目的とした施設整備を行い、

健康寿命延伸の為の実践型イノベーションセンターを目指します。

北大阪健康医療都市（愛称：健都）が有する医療・研究機関との高度な連携基盤と、地域住民との接点を活用し、「食」を通じた健康づくり・生活習慣病予防・研究開発成果の社会実装を進める産学官民連携の中核拠点の形成を目指します。

目指すべき姿
＜整備基本方針＞

産学官民連携による健康寿命延伸への取組み

健康づくりを目的とした安心・安全な食の社会実装

地域住民と共に進める生活習慣病予防・共創活動

整備基本方針①

産学官民連携による健康寿命延伸への取組み

- I. 研究機関や企業等と連携し、「食と健康」を基軸とした栄養摂取、運動・疾病予防に関する研究成果の社会実装を目指します。
- II. 企業と連携し、腸内環境改善食・低糖質食品・アレルギー対応食品・機能性食品・栄養素材・調理法等の開発と実証研究を行う予定です。
- III. 研究機関の知見を活用した、管理栄養士等による「出張講義」を学校や施設内の多目的ルームで開催予定です。

整備基本方針②

健康づくりを目的とした安心・安全な食の社会実装

I. 研究機関、企業等との健康的な食の開発（※）から、実証、提供（社会実装）までを一気通貫で実施します。

※糖尿病・高血圧・脂質異常症等、生活習慣病予防や科学的根拠に基づく、新メニュー開発をテストキッチンにて行う予定です。

II. 食の提供と併せて血圧・体重等の健康データを蓄積する仕組みを構築し、地域の健康増進に貢献する予定です。

整備基本方針③

地域住民と共に進める生活習慣病予防・共創活動

- I. 研究機関、企業等と連携し、ワークショップ、食育セミナー、発表会などの多様なイベントを実施し、研究成果を地域社会へ発信するとともに、健都の取組への住民の参画を推進します。
- II. 調理場の視聴見学が可能なスクリーン・モニターや体験施設等を整備し、学びと交流の場として施設を開放予定です。



施設整備計画について

オープンイノベーションの推進を目的として以下の施設を整備予定です。

<整備予定施設>

1. テストキッチン

ライフサイエンス・バイオ・食品・ヘルスケア領域の企業や大学がメニュー開発施設として活用することを想定しています。



2. キッチンスタジオ

「見る・知る・味わう」体験型の食育施設として活用することを想定しています。



施設整備計画について

オープンイノベーションの推進を目的として以下の施設を整備予定です。

<整備予定施設>

3. 多目的ルーム

モニターによる1階調理場の見学や、地域住民・来訪者が食と健康について学べるイベント・プログラムの開催が可能な環境を整備予定です。



4. イノベーションホール

回転釜等の展示品を設置予定で体験実習やアレルギーの研究成果の発信、情報交流会のスペースとして活用することを想定しています。



施設整備計画について

オープンイノベーションの推進を目的として以下の施設を整備予定です。

<整備予定施設>

5. 大量調理設備

中学校給食の調理（最大11,500食/日）や学校の長期休業期間（夏季・冬季）を利用した調理場での職業体験等を実施予定です。

また、福祉施設への配食サービス事業や子供食堂の調理等、地域ニーズや周辺環境に合わせた施設利用計画を検討してまいります。



<その他期待される機能>

- 食育の知見の実証事業、社会実装
- 食事介入研究における研究機関との連携
- 企業や研究機関が開発した健康食等の大量調理の実証



災害時対応について

災害時に地元被災者への支援に資する設備を整備予定です。

- ・ 移動式コンロカートを複数台常備し、都市ガスの供給停止時における地元被災者に対する炊き出しに備えます。
- ・ 防災倉庫や提供緑地の供用、配送車の貸し出しによる食材運搬の協力なども想定しています。



周辺環境との調和（環境対策）

各種法令上の基準を当然に遵守した上で、より高い水準として次のとおり近隣の居住環境に配慮した対策を行います。

- 1) ばい煙対策 ばい煙対策として、優れた環境性能を持つボイラーを採用し、大阪府推奨ガイドライン値の約半分以下の排出濃度に抑制するよう努めます。
- 2) 臭気対策 臭気対策として排気設備の抜本的見直しを実施し、脱臭装置を設置することで、吹田市の臭気指数基準に近づけるための最大限の対策を講じます。

- 3) 騒音対策 騒音対策として遮音性能の高い外壁を設置し、施設内の機器は消音・低騒音形機器を導入、給排気・空調設備は建屋・防音壁に囲まれた屋上に設置することで、第1種住居地域における以下の規制基準を遵守します。

<騒音値基準>

朝（6～8時）： 50dB以下

夕（18時～21時）： 50dB以下

昼間（8～18時）： 55dB以下

夜間（21時～6時）： 45dB以下

- 4) 振動対策 振動対策として空調設備は高効率運転を図り、回転数を適宜制御することで振動を抑制します。給排気・空調設備の架台には防振ゴムを設置し第1種住居地域における以下の規制基準を遵守します。

<振動規制基準>

昼間（6～21時）： 60dB以下

夜間（21時～6時）： 55dB以下

車両の安全運行について

地域の皆さまの安心と安全を最優先とする運営を基本的な考え方とします。

運行する関連車両において、地域の皆さまの安心と安全を最優先に考え車両運行を行うように努めます。

<安全対策>

- ・敷地内出入り時の一時停止の徹底
- ・徐行の徹底等による通行者の安全確保
- ・予備人員を活用した入出庫時の誘導
- ・出入口の回転灯設置、警告音鳴動の検討



想定車両台数・配送時間計画について

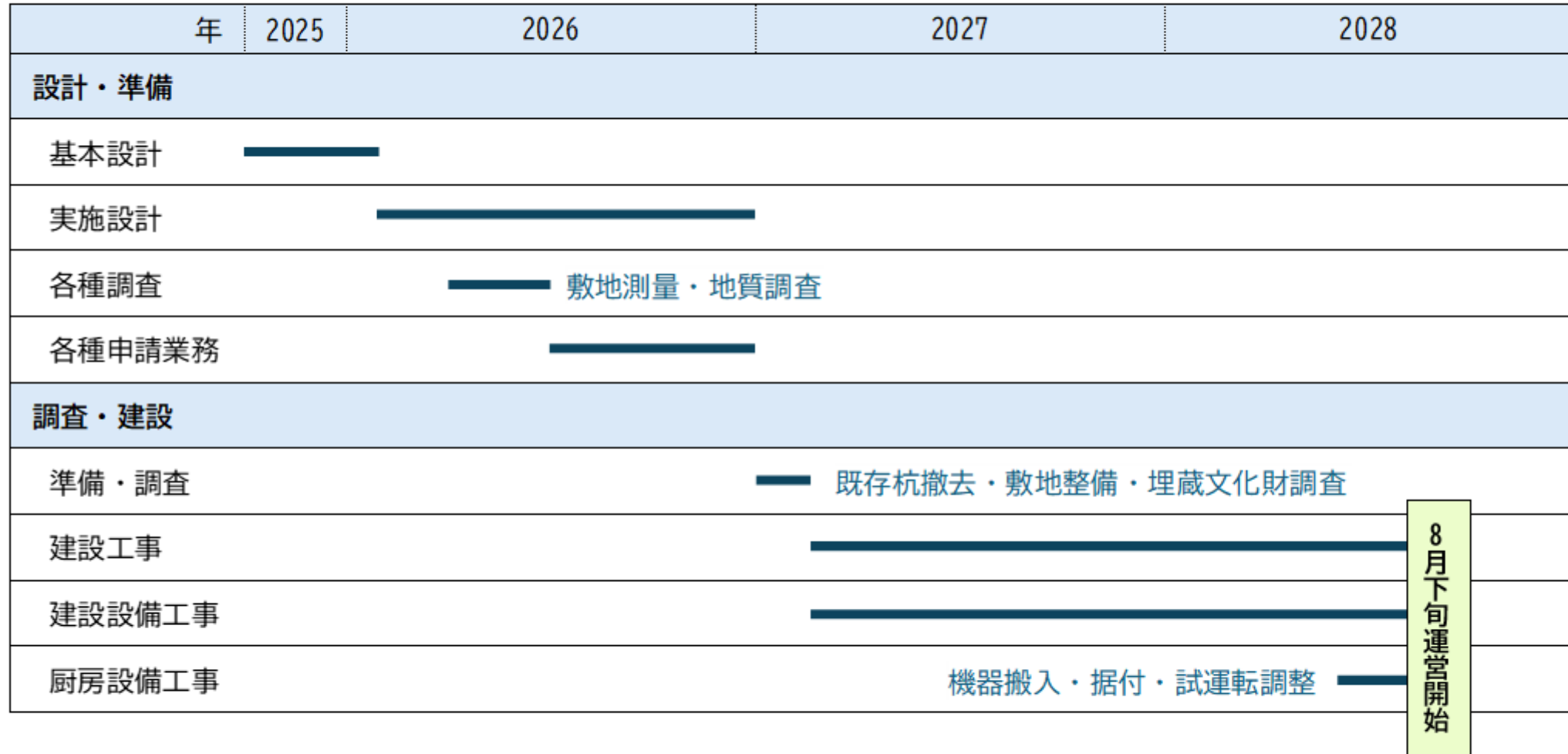
敷地周辺の運行時における安全確保を基本的な考え方とします。

< 配送時間・交通量計画（想定） >

項目	想定時間	頻度	台数
食器の配送（往復）	9:10~10:30	平日（週5日）	13台程度
給食の配送（往復）	11:00~12:30	平日（週5日）	13台程度
給食の回収（往復）	13:10~15:30	平日（週5日）	13台程度
食材料の納品A	12:00~15:00	平日（週5日）	10台程度
ゴミ収集	16:00~16:30	平日（週5日）	1台程度
食材料の納品B	7:00~7:30	月に2~3回	2~3台程度

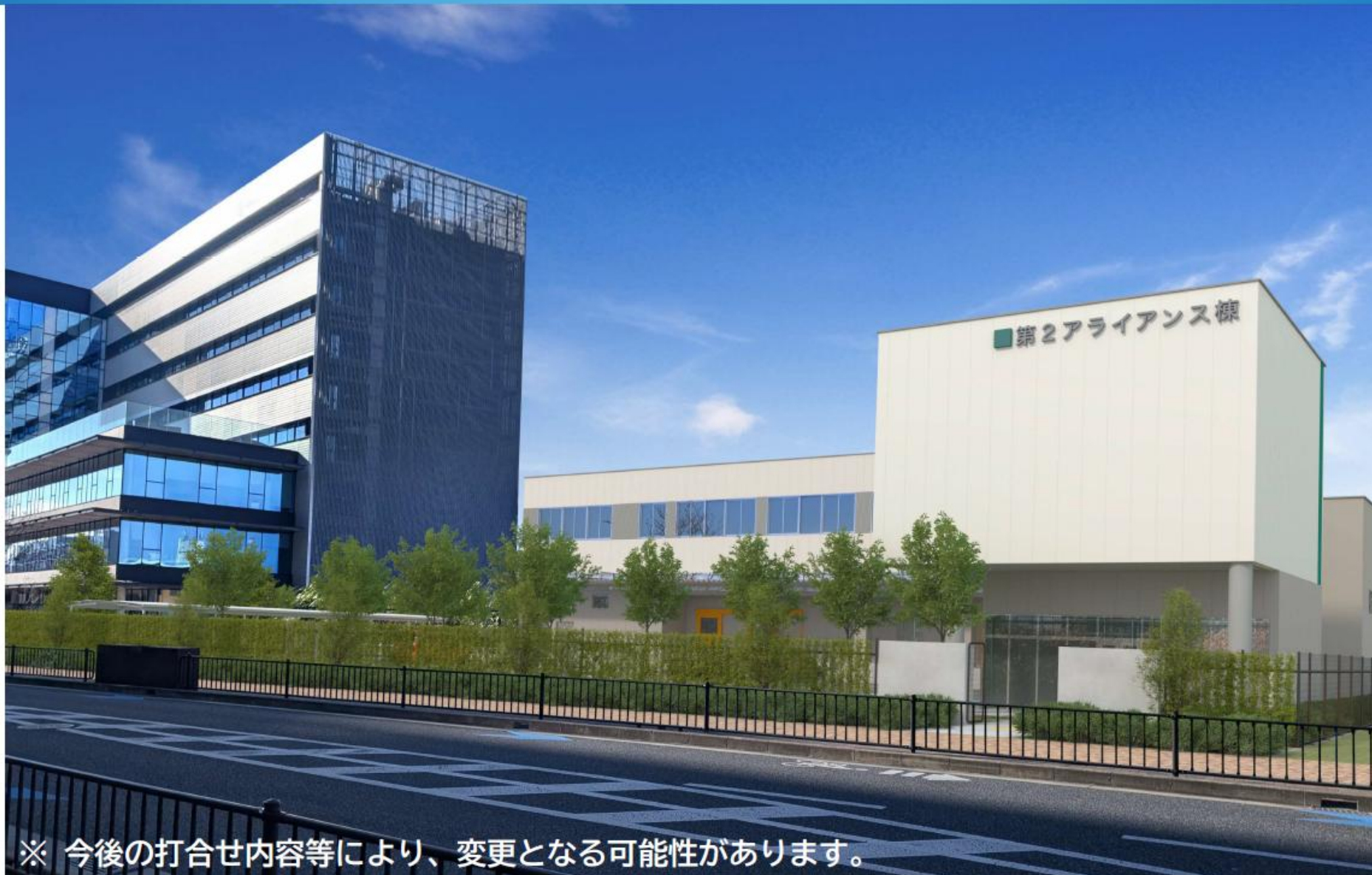
- ※ 食材料の納品はAパターンが通常で、Bパターンは祝日の関係で月曜日や火曜日等に月2~3回納品する場合があります。
- ※ 従業員の通勤については、公共交通機関の利用を原則としていますが、自転車や原動機付自転車を利用する場合があります。この他、緊急対応用の乗用車2台程度の常備を想定しています。

施設設計及び建設業務計画



※ 今後の打合せ内容等により、変更となる可能性があります。

建物外観イメージ



※ 今後の打合せ内容等により、変更となる可能性があります。

問い合わせ先

吹田市 健康医療部 健康まちづくり室

(電話) 06-6384-2614

(メール) ken_machi@city.suita.osaka.jp

※給食に関することについて

吹田市 学校教育部 保健給食室

(電話) 06-6155-8153

(メール) cyugaku-kyuu@city.suita.osaka.jp